

団地の高齢者 5Gで支援

大倉、兵庫・三田で夏にも開始

不動産中堅の大倉（大阪）は、兵庫県三田市に専用機器を設置し、5Gを活用した住民向けサービスを2021年夏にも始める。自宅



通信カメラを設置し離れた場所でも自宅の様子を把握

リモート医療指導／ロボが買い物

が進む団地の利便性向上をはかる。

大倉が1990年代に開発した戸建て団地「三田ガーデンタウンつづじヶ丘」に地域限定の「10ヶ丘」を導入する。

総務省に商用許可を申請し、今夏をめどに免許を取得する。計100万平方メートルの敷地に通信機を7台設置し、総投資額は数億円規模を見込む。

遠隔医療では北海道で病院を展開する社会医療法人の孝仁会と提携。自

分の姿を映すことで体温などを測れる「スマートミラー」を設置し、日々の健康状態を自動で記録。異常があれば医師にオンラインで相談できる。室内カメラを置き外出中でもスマートフォンなどから自宅の様子がわかる仕組みも導入。高齢